

横浜冷凍株式会社

サステナビリティレポート・レポート

## 1. 本社債の概要

名称	横浜冷凍株式会社第1回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債 (劣後特約付) (サステナビリティボンド)
発行額	金 100 億円
当初利率	年 0.760% (注)
払込期日	2021 年 9 月 27 日
償還期限	2058 年 9 月 27 日
期限前償還	2028 年 9 月 27 日以降の各利払日に当社の裁量により期限前償還可能。また、払込期日以降に税制事由又は資本性変更事由が生じ、かつ継続している場合は期限前償還可能
利払日	毎年 3 月 27 日及び 9 月 27 日
利払の任意停止	当社の裁量により、本社債の利息の全部又は一部を繰り延べることが出来る
優先順位	本社債の弁済順序は当社の一般の債務に劣後し、普通株式に優先する
取得格付	BBB (日本格付研究所)
資本性	株式会社日本格付研究所から 50%の資本性の認定を受ける
主幹事	大和証券株式会社、みずほ証券株式会社、S M B C 日興証券株式会社

(注) 2021 年 9 月 27 日の翌日から 2028 年 9 月 27 日までは固定利率。

2028 年 9 月 27 日の翌日以降の利払日においては、各利率改定日 (下記に定義する。) に改定され、各改定後利率適用期間 (下記に定義する。) について、1 年国債金利に 1.830%を加算したものとする。

「利率改定日」とは、2028 年 9 月 27 日及びその 1 年後ごとの応当日をいう。

「改定後利率適用期間」とは、各利率改定日の翌日から次の利率改定日または本社債が償還される日のいずれか早い日までの期間をいう。

## 2. 資金充当レポーティング

2021年9月27日に発行した、横浜冷凍株式は第1回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付）（サステナビリティボンド）による調達資金の、各適格プロジェクトへの充当状況は以下の通りです。なお、2021年10月末時点で、調達資金は全額を充当しております。

(2021年10月末時点)

項目	充当プロジェクト	充当金額（単位：億円）
調達額		100
資金充当額	福岡 ISLAND CITY 物流センター	65
	気仙沼ソーティングスポットⅡ	20
	長崎ソーティングスポット	15
未充当残高（未充当残高は現金及び現金同等物にて管理）		0

### 3. インパクト・レポート（2022年9月末時点）

プロジェクトによる社会的便益及び環境改善効果は、以下のとおりです。

（数値は2021年10月～2022年9月の実績）

ソーシャルプロジェクト	アウトプット	アウトカム	インパクト
気仙沼ソーティングスポットⅡ	プロジェクトの詳細 「気仙沼ソーティングスポットⅡ 竣工のお知らせ」（2021年7月15日付） <a href="https://www.yokorei.co.jp/news/detail.php?type=news&amp;id=29KCYJL">https://www.yokorei.co.jp/news/detail.php?type=news&amp;id=29KCYJL</a>	・凍結数量：15,188 トン ・機械化・自動化の状況：自動鮮魚選別ライン、自動脱パンライン、省エネ型自然冷媒急速凍結設備 （当社最大の凍結能力180 トン/日）	・安全な食料品の提供 ・地元の漁業の振興を通じた地域経済の活性化と、それによる過疎化の防止 ・自動化の実現で女性や高齢者をはじめとした労働者が働きやすい労働環境を実現 ・太陽光発電・蓄電システム等 BCP 対応で災害に強い地域社会への貢献
長崎ソーティングスポット	プロジェクトの詳細 「長崎ソーティングスポット竣工のお知らせ」（2020年6月12日付） <a href="https://www.yokorei.co.jp/news/detail.php?type=news&amp;id=28PAQJ4">https://www.yokorei.co.jp/news/detail.php?type=news&amp;id=28PAQJ4</a>	・凍結数量：12,762 トン ・取扱数量：21,483 トン ・機械化・自動化の状況：自動鮮魚選別ライン、自動脱パンライン、省エネ型自然冷媒急速凍結設備 （凍結能力166 トン/日）	・安全な食料品の提供 ・地元の漁業の振興を通じた地域経済の活性化と、それによる過疎化の防止 ・女性や高齢者をはじめとした労働者が働きやすい労働環境の実現

グリーンプロジェクト	環境改善効果等
福岡 ISLAND CITY 物流センター	・CASBEE 福岡：A ランク ・太陽光発電量：603MW ・エネルギー使用量：2,338MW うち太陽光発電による使用割合：25.8% ・太陽光発電による CO2 排出削減量（推計値）：289 トン-CO2 ※プロジェクトの詳細「福岡 ISLAND CITY 物流センター竣工のお知らせ」（2021年1月20日付） <a href="https://www.yokorei.co.jp/news/detail.php?type=news&amp;id=29GLBT3">https://www.yokorei.co.jp/news/detail.php?type=news&amp;id=29GLBT3</a>
気仙沼ソーティングスポットⅡ	・太陽光発電量：393MW ・エネルギー消費量：3,773MW うち太陽光発電による使用割合：10.4% ・太陽光発電による CO2 排出削減量（推計値）：179 トン-CO2
長崎ソーティングスポット	・太陽光発電量：255MW ・エネルギー消費量：3,372MW うち太陽光発電による使用割合：7.6% ・太陽光発電による CO2 排出削減量（推計値）：122 トン-CO2

以上

#### 4. インパクト・レポーティング (2023 年 9 月末時点)

プロジェクトによる社会的便益及び環境改善効果は、以下のとおりです。

(数値は 2022 年 10 月～2023 年 9 月の実績)

ソーシャルプロジェクト	アウトプット	アウトカム	インパクト
気仙沼ソーティングスポット II	プロジェクトの詳細 「気仙沼ソーティングスポット II 竣工のお知らせ」(2021 年 7 月 15 日付) <a href="https://www.yokorei.co.jp/news/detail.php?type=news&amp;id=29KCYJL">https://www.yokorei.co.jp/news/detail.php?type=news&amp;id=29KCYJL</a>	・凍結数量：12,298 トン ・機械化・自動化の状況：自動鮮魚選別ライン、自動脱パンライン、省エネ型自然冷媒急速凍結設備 (当社最大の凍結能力 180 トン/日)	・安全な食料品の提供 ・地元の漁業の振興を通じた地域経済の活性化と、それによる過疎化の防止* ・自動化の実現で女性や高齢者をはじめとした労働者が働きやすい労働環境の実現 ・太陽光発電・蓄電システム等 BCP 対応で災害に強い地域社会への貢献
長崎ソーティングスポット	プロジェクトの詳細 「長崎ソーティングスポット竣工のお知らせ」(2020 年 6 月 12 日付) <a href="https://www.yokorei.co.jp/news/detail.php?type=news&amp;id=28PAQJ4">https://www.yokorei.co.jp/news/detail.php?type=news&amp;id=28PAQJ4</a>	・凍結数量：16,609 トン ・取扱数量：24,581 トン ・機械化・自動化の状況：自動鮮魚選別ライン、自動脱パンライン、省エネ型自然冷媒急速凍結設備 (凍結能力 166 トン)	・安全な食料品の提供 ・地元の漁業の振興を通じた地域経済の活性化と、それによる過疎化の防止 ・女性や高齢者をはじめとした労働者が働きやすい労働環境の実現

\*2023 年 8 月、気仙沼市の地域再生「気仙沼市まち・ひと・しごと創生推進計画」へ寄付

<https://www.kesenuma.miyagi.jp/sec/s020/030/010/010/550/20230508161714.html>

グリーンプロジェクト	環境改善効果等
福岡 ISLAND CITY 物流センター	・CASBEE 福岡：A ランク ・太陽光発電量：558MW ・エネルギー使用量：2,660MW うち太陽光発電による使用割合：21.0% ・太陽光発電による CO2 排出削減量（推計値）：241 トン-CO2 ※プロジェクトの詳細「福岡 ISLAND CITY 物流センター竣工のお知らせ」(2021 年 1 月 20 日付) <a href="https://www.yokorei.co.jp/news/detail.php?type=news&amp;id=29GLBT3">https://www.yokorei.co.jp/news/detail.php?type=news&amp;id=29GLBT3</a>
気仙沼ソーティングスポット II	・太陽光発電量：345MW ・エネルギー消費量：3,337MW うち太陽光発電による使用割合：10.3% ・太陽光発電による CO2 排出削減量（推計値）：162 トン-CO2
長崎ソーティングスポット	・太陽光発電量：245MW ・エネルギー消費量：3,763MW うち太陽光発電による使用割合：6.5% ・太陽光発電による CO2 排出削減量（推計値）：105 トン-CO2

以上

## 5. インパクト・レポート（2024年9月末時点）

プロジェクトによる社会的便益及び環境改善効果は、以下のとおりです。

（数値は2023年10月～2024年9月の実績）

ソーシャルプロジェクト	アウトプット	アウトカム	インパクト
気仙沼ソーティングスポットⅡ	プロジェクトの詳細 「気仙沼ソーティングスポットⅡ 竣工のお知らせ」（2021年7月15日付） <a href="https://www.yokorei.co.jp/news/detail.php?type=news&amp;id=29KCYJL">https://www.yokorei.co.jp/news/detail.php?type=news&amp;id=29KCYJL</a>	・凍結数量：13,972 トン ・機械化・自動化の状況： 自動鮮魚選別ライン、自動脱パンライン、省エネ型自然冷媒急速凍結設備（当社最大の凍結能力 180 トン/日）	・安全な食料品の提供 ・地元の漁業の振興を通じた地域経済の活性化と、それによる過疎化の防止* ・自動化の実現で女性や高齢者をはじめとした労働者が働きやすい労働環境の実現 ・太陽光発電・蓄電システム等BCP 対応で災害に強い地域社会への貢献
長崎ソーティングスポット	プロジェクトの詳細 「長崎ソーティングスポット竣工のお知らせ」（2020年6月12日付） <a href="https://www.yokorei.co.jp/news/detail.php?type=news&amp;id=28PAQJ4">https://www.yokorei.co.jp/news/detail.php?type=news&amp;id=28PAQJ4</a>	・凍結数量：16,952 トン ・取扱数量：24,023 トン ・機械化・自動化の状況：自動鮮魚選別ライン、自動脱パンライン、省エネ型自然冷媒急速凍結設備（凍結能力 166 トン/日）	・安全な食料品の提供 ・地元の漁業の振興を通じた地域経済の活性化と、それによる過疎化の防止 ・女性や高齢者をはじめとした労働者が働きやすい労働環境の実現

\*2024年7月気仙沼地域振興への寄与に対し、気仙沼市令和6年度漁船表彰(買受最高位)を受賞  
<https://www.kesenuma.miyagi.jp/sec/s002/020/030/050/020/130/04/20240724suisanka.pdf>

グリーンプロジェクト	環境改善効果等
福岡 ISLAND CITY 物流センター	・CASBEE 福岡：A ランク ・太陽光発電量：554MW ・エネルギー使用量：2,603MW うち太陽光発電による使用割合：21.3% ・太陽光発電による CO2 排出削減量（推計値）：256 トン-CO2 ※プロジェクトの詳細「福岡 ISLAND CITY 物流センター竣工のお知らせ」（2021年1月20日付） <a href="https://www.yokorei.co.jp/news/detail.php?type=news&amp;id=29GLBT3">https://www.yokorei.co.jp/news/detail.php?type=news&amp;id=29GLBT3</a>
気仙沼ソーティングスポットⅡ	・太陽光発電量：361MW ・エネルギー消費量：3,366MW うち太陽光発電による使用割合：10.7% ・太陽光発電による CO2 排出削減量（推計値）：166 トン-CO2
長崎ソーティングスポット	・太陽光発電量：244MW ・エネルギー消費量：3,824MW うち太陽光発電による使用割合：6.4% ・太陽光発電による CO2 排出削減量（推計値）：113 トン-CO2

以上